

1

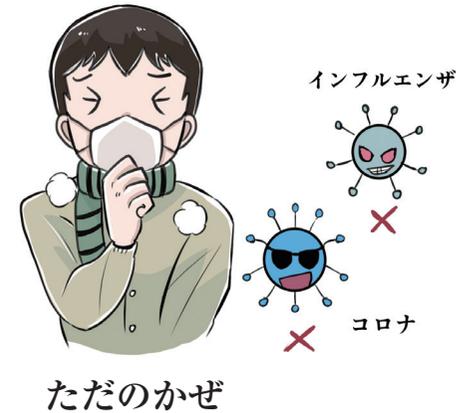
○	大人	¥1,000	○
	学生	¥ 800	
○	子供	¥ 500 (5才以下無料)	○

¥0  
ただ

2



3



1 遊園地や動物園は入場料を払います。大人と子供では、値段が違います。そして、「5才以下の子供は無料」という所もあります。「無料」はお金を払わなくてもいいということですが、「ただ」と言うこともできます。「ただ」は話すときに使います。友達や家族と話すとき、「あ、この遊園地、5才以下の子供は「ただ」だよ」とか、「町のイベントに行ったら、「ただ」で花をもらったんだ」とか、友達や親しい同僚と話すときに使います。  
友達や同僚と話すときは、無料ではなくて、「ただ」と言ってもいいです。「¥0」を書いて知らせるときは、「無料」と書きます。話すときは「ただ」と言います。

2 「¥0」ではない「ただ」もあります。一人だけとか、一つだけとかと言いたいときにも「ただ」を使います。会議で意見を出しました。一人だけ私の意見に賛成でした。そのとき、「ただ一人賛成でした」と言います。「だけ」は「一人」の後ろに付けますが、「ただ」は「一人」の前に付けます。「一人だけ」と「ただ一人」はどちらも「一人」です。  
問題が一つだけのときも「問題はただ一つです」と言うことができます。「だけ」といっしょに使うこともできます。「問題はただ一つだけです」と言います。  
3 特別ではない場合にも「ただ」と言うことができます。冬は風邪を引きやすいです。で

も、風邪のような病気にインフルエンザやコロナもあります。熱が39度ぐらまで高くなったり、咳がずっと止まらなかったり、たくさん服を着ても、毛布の中で温かくしていても寒かったりしたら、インフルエンザやコロナかもしれないです。心配です。病院に行きましょう。医師が「大丈夫ですよ。ただの風邪です」と言いました。「ただの」は「普通」という意味ですから、「ただの風邪」は「普通の風邪」という意味です。職場の人にも「大丈夫ですか？」と聞かれたとき、「いいえ、ただの風邪ですから大丈夫です」と言うことができます。「ただの風邪ですか。よかったですね」とみなさん安心します。